

晩秋の花巡り

ツワブキ、ハマギク、メキシカンブッシュセージが
開花しています。

2011年11月2日撮影

国営ひたち海浜公園では、海浜部で晩秋の花が開花しています。

バーベキュー広場近くの林では、ツワブキが可愛い黄色い花を咲かせています。濃い緑の葉はツヤがあり、木漏れ日を浴びた花が鮮やかに映えます。

ハマギクは白く鮮やかな花を咲かせるキクです。海浜部以外にもサイクリングコース内の常陸野サークル付近でも開花しており、サイクリングをしながら、ご覧いただくことができます。この花は当公園があるひたちなか市付近を南限としており、ひたちなか市の市の花となっています。

その他、香りの谷ではメキシカンブッシュセージが紫の花を咲かせており、間もなく鮮やかな金色の花を咲かせるイソギクも開花致します。

コキアの紅葉にかわり、これからは小規模ながら風情ある花の佇まいをお楽しみいただくことができます。

お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報宣伝チーム 青木・服部・和光

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

TEL: 029-265-9001 (報道関係者の方は 029-265-9004・9005 迄) FAX: 029-265-9339

ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp> “ひたち海浜公園”で検索。

見頃：10月上旬～11月上旬
(綿帽子は12～1月)

ツワブキ

キク科ツワブキ属 多年草
原産地：日本



ただいま見頃です！



ツワブキは福島・石川県以西の海岸や海辺の山などに自生する常緑のキク科の多年草です。名前の由来は、フキに似ていること、そして、葉に海浜植物特有の光沢があることから、ツワブキが転訛したと言われています。葉や花が美しく、ハマギク、イソギクと並んで観賞価値が高いことから、古くから栽培されてきました。秋になると70cm程度の花茎が伸び、径3～6cmの黄色い花をつけます。花後はタンポポのような綿ぼうしを1月下旬頃まで楽しむことができます。

開花中

見頃：10月中旬～11月上旬

ハマギク

キク科キク属 多年草
原産地：日本

ハマギクは茨城県から青森県の太平洋側に分布し、海岸の崖などに生える日本原産のキク科の植物です。

学名は「*Nipponanthemum nipponicum*」。植物として唯一属名にも種小名にもニッポンの名が入った学名を持ち、茨城県出身の植物学者、松村任三氏によって命名されました。本公園のあるひたちなか市の花はこのハマギクで、ひたちなか市付近がハマギクの自生地の南限であることから、市のシンボルとなっています。



2011年11月2日撮影

メキシカンブッシュセージ

シソ科サルビア属 宿根草 原産地：メキシコ

見頃：10月中旬～11月下旬

開花中

メキシカンブッシュセージはアメジストセージやサルビアレウカンサともよばれ、ピロードのような紫のつぼみから同じく紫の花を咲かせるものと、白い花を咲かせるものがあります。ただいま「香りの谷」で開花しています。



まもなく開花を迎える
もうひとつの美しいキク

「イソギク」



2011年11月2日撮影

イソギクは日本原産で、茨城県を北限として太平洋側に分布します。花びらのない、あざやかな黄色い筒状の花がかたまって咲き、園内では間もなく開花を迎えます。